

化学と教育

第64巻 第12号 2016年 目次

◆ Color Gallery

- レーダー 海洋生物から未知の有用物質を発見する 岩崎 有紘, 末永 聖武…………… 口絵 43
 シリーズ 何事も自然とともに 吉岡 幸雄…………… 口絵 44

◆ 化学教育 徒然草

- 人と社会と化学 松本 真哉…………… 585

◆ ヘッドライン：いまどきの大学化学教育

- 高校理科選択と大学化学のリテラシー 秋津 貴城…………… 588
 文系・社会人から化学系大学生になる 鈴木 章文…………… 592
 大学における反転授業のデザイン 森 朋子…………… 596
 ICT 機器による学び方の変容 高野 博…………… 600

◆ レーダー

- 海洋生物から未知の有用物質を発見する 岩崎 有紘, 末永 聖武…………… 604
 ラセン不斉芳香族化合物が示す機能・現象 重野 真徳…………… 606

◆ 実験の広場

- ビギナーのための実験マニュアル
 ナイロンの界面重合 高木 春光…………… 608
 5分間デモ実験
 硫黄の同素体 久保田 港…………… 610

◆ 講座：ご当地の化学

- 千葉県/関東支部 千葉県で発見された新鉱物「千葉石」 門馬 綱一…………… 612
 京都府/近畿支部 においては薬になりますか 伊藤美千穂…………… 616

◆ シリーズ：教科書から一歩進んだ身近な製品の化学 —匠の化学—

- 何事も自然とともに 吉岡 幸雄…………… 620

ヘッドラインテーマ：いまどきの大学化学教育

教育改革への対応として、多様な学生を評価できる入学者選抜のあり方を具体化したアドミッション・ポリシーや、何を教えるかではなく何ができるようになるかを学生側に立って明確化するディプロマ・ポリシーの策定などが進んでいます。このような背景をふまえて、とくに高校教員への情報提供とすべく、反転授業（アクティブ・ラーニング）、ITC 利用教材、リカレント教育（未履修選択科目との兼ね合い）、化学を学び直す社会人学生についての解説を企画しました。いまどきの大学での新しい教育方法や多様な学生からのニーズなど、それぞれの立場の著者の取り組みや意見をご紹介します。

会告

△ 日本化学会から

本部事務局・化学情報センター、年末年始のお知らせ	622
「現教職員の研修に関するアンケート」ご協力のお祝い	625
「現教職員の研修に関するアンケート」FAX 用紙	626
113 番元素の名称・記号が正式決定	627
サイエンスアゴラ 2016 参加報告	628
【開催報告】第 6 回 CSJ 化学フェスタ 2016	630
「化学と教育」誌記事別・実験領域別 抄録データベース公開のお知らせ	638

■ 行事一覧	624	■ 編集後記	640
■ 総索引	632		

表紙の言葉 福島大学 S 講義棟

福島大学は学芸学部（福島市浜田町）、経済学部（福島市森合）の 2 つのキャンパスに分散していたため、1979 年に現在の金谷川キャンパスに統合移転しました。1987 年に行政政策学部を増設、2004 年 10 月には国立大学法人化のなかで共生システム理工学類を創設し、新たな出発をしました。大震災・原発事故直後の 2011 年 4 月には「うつくしまふくしま未来支援センター」、2013 年には「環境放射能研究所」を設立し、現在も復興に向けて多岐にわたる支援活動及び研究活動を展開している最中です。本建物は共通講義棟の一つで S 講義棟と呼ばれ、学生たちが基礎から応用まで、少人数で様々な講義を受ける学び舎です。

次号予告 65 巻 1 号

ヘッドライン：資源探査の化学

ヘッドライン 責任ある資源利用を目指した社会における未利用資源の活用	松八重一代、長坂 徹也
地下エネルギー資源の探査	山田 泰広
バイオ資源の探索研究	中山 亨、和氣 駿之、高橋 征司